

■第4期中期目標（検討案）

	中期目標（市）の方向性	中期計画（市大）骨子（案）
教育	<p>【将来の横浜を担う人材の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○データ思考や高度なスキルを習得し、自ら課題を発見し、新たな価値を創造し、社会課題の解決を図り、将来の横浜を担う人材の育成と輩出 ○新設、再編学部における効果検証の実施 <p>【社会人の学び直しの強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたり学び、スキルを身につけることができる社会の実現に向けた、社会人の学び直し（リカレント教育）の強化 <p>【教育環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○デジタルの活用を含めた、学生の教育研究活動の質の向上のための教育環境の整備 <p>【学生の経済支援の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経済的な不安なく、学び続けることができるための学生に対する支援の推進 <p>【市内企業や地域社会との連携・対話】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会が必要とする人材の育成に向けた、市内企業や地域社会との連携や対話によるカリキュラムの構築 <p>【地域医療を担う人材の確保・育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○先進的な高度医療や救急医療をはじめ、市民に身近な地域医療を支える医療人材の確保・育成 	<p>【問題発見・課題解決力の涵養と新たな価値を創造する人材の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育の質保証と新たな教育手法の開発・本学の特徴を活かした領域横断教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・データ思考教育、グローバル教育、リベラルアーツ教育 ○社会人の学び直し・生涯学習の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・リカレント教育の推進 ○時代に即した学修環境・学生支援の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・学修者本位の教育に向けた学修環境提供 ・学生生活支援 ○明日を担う質の高い医療人材の育成 → 「医療」へ <ul style="list-style-type: none"> ・医療人材の育成 ・経営力を備えた人材育成 ・医療人材の活用
研究	<p>【多様な主体と連携した研究の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産学連携やオープンイノベーション等、企業、他大学、研究機関等との積極的な連携による共同研究の推進 <p>【学問の分野を超えた研究の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○イノベーションの推進や社会課題の解決に向けた、文系・理系の枠組みや学問の分野を超えた研究の推進 <p>【外部資金の積極的獲得】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国の科学研究費補助金や、企業等からの受託・共同研究費等、外部資金の積極的な獲得による研究の推進 <p>【質の高い臨床研究の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内医療機関との連携による質の高い臨床研究や治験の実施、市民への先進的医療の提供、創薬の取組の強化 	<p>【基礎的研究力及び高い研究倫理を土台とした戦略的かつ先進的な研究及び学際的研究の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オープンイノベーション等を通じた研究の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・オープンイノベーションの推進 ・大学発ベンチャーの創出支援 ・研究成果の社会実装 ○先進的・学際的研究等の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・先進的な医科学研究の推進 ・各領域における研究活動の推進 ○外部資金の積極的な獲得 → 「法人経営」へ <ul style="list-style-type: none"> ・URA等の研究支援による競争的資金及び企業等との共同研究費獲得 ○大学病院としての特色を活かした臨床研究の推進 → 「医療」へ <ul style="list-style-type: none"> ・臨床研究の推進
医療	<p>【高度・先進医療等の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特定機能病院・高度救命救急センターの役割を踏まえた、政策的医療・高度先進医療、救急・災害医療の市民への提供 <p>【地域医療機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医師会等、地域の医療機関との対話を踏まえた、「かかりつけ医」と大学病院との機能分担の推進 <p>【市の感染症対策への協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍での対応を検証し、将来再び感染症が発生した場合、市が実施する感染症対策への積極的な協力 <p>【病院事業の経営改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○将来の医学部・附属2病院等の再整備に向けた、病院事業の経営改善、組織運営の見直しの推進 	<p>【高度で安全な医療を提供し、地域医療の最後の砦として、市民に信頼され、教職員が誇れる大学病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○政策的医療への貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・がん医療、感染症医療、災害時医療、救急医療等 ○質の高い医療の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ゲノム医療 ・高度で先進的な医療 ○地域医療の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療への貢献 ・地域医療連携の推進 ○医学部・病院等再整備事業及び統合を見据えた取組の推進並びに経営基盤の強化 → 「法人経営」へ <ul style="list-style-type: none"> ・2病院の連携の推進と経営基盤の強化（役割分担） ・2病院の共通化・共有化の推進

<p>地域貢献</p>	<p>【地域貢献の責務としての位置づけ】 ○「横浜に貢献する大学」を目指し、地域貢献を教職員の責務と位置づけ、「地域貢献」に組織的に取り組むための仕組みの構築</p> <p>【市への施策提言や職員との連携】 ○データに基づく施策立案に向けた市職員の人材育成プログラムへの参画と、市職員と連携による施策検討・提言の推進</p> <p>【社会実装・社会実験の取組の強化】 ○教育研究活動を通じて「社会実装」「社会実験」を推進し、地域課題や地域経済の活性化を推進</p>	<p>【横浜市立大学の特徴を活かした、社会とつながる地域貢献の推進】</p> <p>○法人経営の効率的かつ効果的な運営</p> <p>○課題解決を目指した地域社会との協働の推進 ・コーディネート機能の強化による地域連携の推進と発信</p> <p>○オープンイノベーション等を通じた研究の推進<研究再掲> ・オープンイノベーションの推進 ・大学発ベンチャーの創出支援 ・研究成果の社会実装</p>
<p>グローバル展開</p>	<p>【海外からの優秀な人材の獲得】 ○「留学生に選ばれる大学」に向けた取組や、留学生のインターンシップの推進による海外人材の市内就職の促進</p> <p>【大学間交流の推進】 ○アジアの大学とのコンソーシアムや海外の交流協定締結大学を活用した大学との研究交流や学生の留学・交流の促進</p> <p>【多様な交際交流機会の提供】 ○遠隔・オンライン教育等の利点を積極的に活用し、これまで以上に多様な国際交流や学修機会の提供を促進</p> <p>【横浜市の国際施策との連携】 ○国際会議の開催に伴う交流イベントや講演会の実施、文化交流等の企画・運営による国際貢献の実施</p>	<p>【“量から質へ”国際社会と連動したグローバル展開】</p> <p>○多様で優秀な人材の獲得 ・グローバル教育、多様な学生受入・支援 ・優秀な人材獲得</p> <p>○横浜ブランドを活かしたグローバルネットワークの構築 ・アカデミックコンソーシアム事業における研究教育活動の推進 ・横浜ブランドを活かした国際交流事業の推進</p> <p>○グローバルリーダー育成 ・「国際的にリーダーシップを発揮できる人材」の輩出を目指した留学体系の整備</p>
<p>法人経営</p>	<p>【コンプライアンス意識の向上】 ○個人情報の適切な管理やコンプライアンスの意識の向上をはじめとした、継続的なリスクマネジメントの取組の推進</p> <p>【人事制度・人材育成制度の強化】 ○組織目標の実現を支えるためのガバナンス強化の一環として、人事制度や人材育成制度の強化・見直し</p> <p>【経営基盤の強化】 ○将来にわたる自律的な法人運営の継続に向けた、歳出改革・経営改善や経営基盤の強化</p> <p>【社会的要請に応える経営資源の管理】 ○社会経済構造の変化と、大学に求められる期待を的確に把握し、大学自ら人員・予算等を見直す仕組みの構築</p> <p>【働き方改革の推進】 ○医療現場における長時間労働の改善をはじめ、大学全体における働き方改革の取組の推進</p>	<p>【時代の流れに柔軟に対応できる持続可能な法人経営の確立】</p> <p>○コンプライアンス推進・ガバナンス強化 ・互いの立場を尊重しあえる風土づくり（風通しのよい職場づくり） ・内部統制をはじめとするガバナンス強化 ・個人情報保護の推進</p> <p>○教職員エンゲージメントの向上 ・法人経営を支え、YCUブランドの向上に寄与する人材の育成と活用 ・職員が生き生きと働くための組織風土の醸成</p> <p>○不断の経営改善及び持続可能な経営のための自己収入確保 ・自律的な運営に資する外部資金獲得施策の実施 ・法人全体の効率的かつ効果的な運営 ・DX推進及び業務改善</p> <p>○職員の健康を守り、働きやすい職場環境の実現 ・働き方改革、タスクシェアリング、多様な就労形態</p>
<p>自己点検及び評価</p>	<p>【中期目標・中期計画の徹底】 ○中期目標と中期計画を組織内の教職員に徹底を図り、この実現に向けた取組を全学的に推進</p> <p>【自己点検及び評価】 ○目標毎の具体的な達成指標を掲げ、進捗管理を行い、自己点検・評価と結果の公表を適切に実施</p>	<p>○目標の浸透と適切かつ効率的な自己点検・評価の実施及び情報公開</p>